

広報誌

# せいりょう

医療法人社団 誠療会



# 2026年 新春のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、地域の皆さんをはじめ、連携医療機関様より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年4月には、当法人として新たに「熊本そけいヘルニア・整形外科クリニック」を開院いたしました。鼠径ヘルニアは身近な疾患でありますから、生活動作や仕事、スポーツに影響を及ぼします。毎年全国で約15万人が手術を受けており、外科領域で最も手術数が多い疾患であります。クリニック開院後にも多くの患者様が治療を受けられています。クリニックの役割は、鼠径ヘルニア、整形外科の専門性の高い治療を提供することはもちろん、その地域の皆さまの医療環境を維持し、健康をより身近で支える拠点として機能することです。

成尾整形外科病院では、従来通り脊椎外科・関節外科を主体とした診療を行っており、クリニック、そして地域の医療機関様と連携をとり、質の高い医療提供を心掛けて運営しております。

病院・クリニックの運営を進められるのも、日々尽力してくれている職員の皆さん、そして長年当院を信頼し支えてくださっている地域の皆さん、医療機関の皆さん、関連業種の皆様のおかげと、深く感謝申し上げます。

一方で、医療を取り巻く環境は年々厳しさを増しております。

人材不足、物価・人件費の高騰の影響は医療現場にも大きな影響を与えており、2026年度の診療報酬改定でもすべてをカバーすることは難しいことが見込まれています。さらにAIやデジタル技術の進展による医療DXも加速しており、診断の効率化、治療技術、診療データの管理など、現場には確実に新たな変革の波が押し寄せています。

こうした時代だからこそ、「地域に根ざした安心の医療」「患者さんに寄り添う心」を原点に、専門性の高い医療と温かいケアを心掛け、生活の質（QOL）を高める医療を提供し続けることが、当法人の変わらぬ使命と感じております。

本年も、病院・クリニックが一体となり、地域の皆さまの健康と安心を支えられる存在であり続けるよう、職員一同努力してまいります。

どうぞ変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



医療法人社団 誠療会  
理事長 成尾 政一郎

# 2026年 新春のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

当院入職後3回目の新年を迎えたが、今まで大きな問題もなく医療が出来たのは病院スタッフのおかげであると考えています。病棟、外来、手術室、地域連携室、リハビリテーション科、薬剤科、放射線科、医事係、総務係、情報システム課、臨床検査科、栄養科、クラーク室等全スタッフの皆様に心から感謝しています。

コロナ後、日常生活を取り戻してはきましたが、医療業界には冷たい雨が降っているように感じています。医療報酬は増えないのでですが人件費を含め、必要経費は徐々に増えているので病院としての収入は増えてこないのが現実です。首相が代わって少しは良い方向に向くとは思いますが、病院収入を確保するためにさらに質の高い医療を提供し、患者さんに選んで頂けるような病院づくりを行っていく必要があると実感しています。

脊椎手術・関節手術も徐々に変わってきていますが基本的には安全で確実な医療を提供するのが最も大事であると考えています。

整形外科だけに限らず外科的・内科的な患者さんも総合的に診ていけるような病院を目指していきますのでさらなるご協力・ご支援をお願いいたします。

最後に皆様のご多幸を祈念して新年の挨拶とさせて頂きます。



成尾整形外科病院  
院長 藤本 徹



新年あけましておめでとうございます。

昨年も、患者さんやご家族、そして地域の皆さまから多くの温かいご支援とご協力を賜り、職員一同、日々の業務に真摯に取り組むことができました。心より感謝申し上げます。

看護は、患者さんとの関わりの中で学び、仲間との協働の中で磨かれ、日々成長していく仕事です。私たちは、経験や立場の違いを超えて、お互いの強みを認め合い、支え合いながら歩んでいきたいと考えています。

変化の多い時代だからこそ、看護の本質である「寄り添う心」を大切にし、患者さんと共に歩みながら、思いに耳を傾け、日々の小さな変化にも気づけるよう努めてまいります。そして、職員同士も互いを思いやり、学び合い、支え合うことで、安心して意見を交わし挑戦できる風通しの良い職場環境を育み、共に成長し続けられる場を築いてまいります。

2026年、午年。馬は「駆け抜ける」「勢い」「前進」の象徴といわれます。私たち看護部も、この一年を力強く、そしてしなやかに駆け抜け、患者さんやご家族に寄り添う看護をさらに充実させてまいりますので、本年も変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

医療法人社団 誠療会

看護局長・看護部長 辻口 志穂

花



昨年多くの患者様・ご家族との出会いを通して学びの多い一年となりました。

患者様一人ひとりの“その人らしさ”を大切に、思いやりのある看護を提供していきます。

スタッフがやりがいを持ち、チームで支え合い、笑顔があふれる病棟であり続けることが目標です。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

1病棟（一般病棟）



地域包括ケア病棟では、本年も患者様に寄り添い、安心して在宅へ戻れるよう退院支援の充実に努めてまいります。また、地域との連携をさらに深め、多職種協働し質の高いケアを提供できるよう、スタッフ一同、より一層努力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

2病棟（地域包括ケア病棟）



2026年の抱負は、人員的に安定し始めたので看護師や介護福祉士と連携を図りナースエイド一人ひとりが行動に責任を持って業務の質を上げていき、患者

様によりよい療養生活の提供ができるように努めたいと思います。

看護補助





痛みが強く入院や手術となった患者様が、退院後は外来に笑顔で来られる姿を見るうれしく思います。

成尾整形に受診してよかったです。新年も医師と連携しながら、温かみのある看護に取り組んでまいります。

外来



2024年度は1013件の手術を行いました。最近では、内視鏡下固定術や前方後方固定術など多様な術式も増えており整形外科に特化した手術を行ってきました。2025年4月より外科の先生の入職により、鼠径ヘルニアの手術を行う事となりました。医師の協力の下スタッフ一同日々精進しながら、取り組んでおります。

また、術前・術後の訪問に伺い、患者さんの不安軽減・安全・安心し手術が受けられるように取り組んでいます。「対応は一瞬でも印象は一生」患者さんの大事な手術に携わるスタッフが、最善を尽くして取り組んでいます。これからも継続し、患者さんの痛み、しづれが少しでも改善するよう取り組んでいきたいと思います。

本年もどうぞ宜しくお願ひいたします。

手術・中央材料室



『つなぐ支援、つながる安心』

入院前から退院後まで、切れ目のない支援を提供することで、患者様とご家族が安心して療養生活に移行できるよう努めます。また、入退院の調整を行い病床の有効活用を図ることで、より多くの患者様に迅速な医療提供が可能となるよう取り組みます。

他職種との連携を深め、患者様にとって安心な入院環境づくりを支えてまいります。

入退院支援・病床管理室



医療安全管理室では『医療安全文化の醸成に努め患者様に安全・安心な医療を提供します』を掲げ職員一同で取り組んでおります。

本年も安心して治療を受けていただける年に努めてまいります。

医療安全管理室

院内感染対策室では『感染対策を充実させることで患者様が安心して医療を受けられる病院』を理念としてかかげ、職員一同安心・安全な医療環境づくりを心がけています。

今年度も病院に訪れる全ての人・職員を感染症から守るため尽力してまいります。

院内感染対策室

看護部教育室では、「看護の専門職として、質の高い看護を主体的に取り組み、自律した看護師の育成」を教育理念に掲げ、日々の教育支援に取り組んでおります。

2026年度は、現場の声に耳を傾けながら、看護師一人ひとりの「学びたい」「成長したい」という思いに寄り添い、地域の皆さんに信頼される看護の提供を支えていきたいと考えております。

看護部教育室

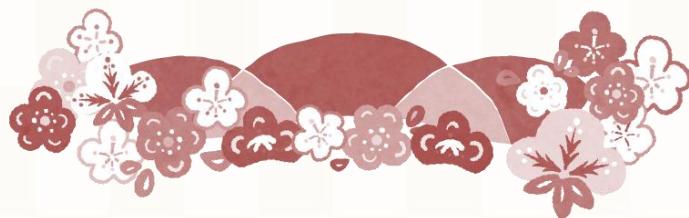
～2026年新年のごあいさつ  
新年の抱負～

## 診療部

新年明けましておめでとうございます。  
昨年も皆様には大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

年を追う毎に老眼の煩わしさや何度も聞き返すといった聴力の衰えを実感しながらも、地域の皆様に愛される病院を目指し、情熱と信念を持って頑張っていく所存です。

今年も変わらぬご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願ひ申し上げます。



成尾整形外科病院  
診療部長 上園 幸作



昨年は地域医療連携に多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も患者様により良い医療を届ける為、迅速かつ丁寧な情報共有と、円滑な医療・介護連携に取り組んでまいりたいと思います。

これからも、皆さまの「困ったときに相談できる場所」として、寄り添いながらお手伝いをさせていただきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

地域連携室

## 診療技術部

新年明けましておめでとうございます。  
診療技術部門は、リハビリテーション科、放射線科、臨床工学科、薬剤科、臨床検査科、栄養科より構成される、患者さんの診断および治療に密接に関わる複合部門です。

患者さんの治療をなるおチーム全体で行うという意志のもと、全員が主役という責任感を持って知識と技術、そして接遇を磨いています。

適切な治療を行うのはどの病院も当たり前であり、その中で患者さんに選んでいただける病院になるためにはどうすべきか。人と人のつながりを大事にし、「ありがとう」の気持ちを胸に日々精進します。

私事ですが、今年は年男です。今年もよろしくお願ひします。



成尾整形外科病院  
診療技術部長 山城 和馬

# 診療技術部



旧年中は、成尾整形薬剤科の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。昨年は、安全で質の高い薬物療法を提供するため配薬管理システム導入、在庫管理システム変更、

術後疼痛管理開始など、スタッフ一丸となって取り組んで参りました。医薬品の出荷調整や停止等も続き、患者様にお渡しする事が出来ないという事例もありましたが、取引先の医薬品卸様や薬剤メーカー様の努力により色々と助けて頂きました。本年も、チーム医療の一翼を担う部署として、他スタッフ、取引先の方々との連携をより強化し、患者様の立場に立った医療の提供が出来、「成尾整形から元気をもらった！」と言って頂けるよう精進して参ります。皆様にとりまして、この一年が健やかで実り多きものとなりますよう心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

薬剤科



本年は、みんなが健康で、ノンストレスで働ける職場環境作りを目標にしたいと思います。心身共に余裕をもって業務に取り組み明るく前向きな一年にしていきましょう。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

臨床検査科



私たち放射線科は「和顔愛語」（わがんあいご）で、安心安全な放射線検査に努めてまいります。本年も放射線科一同どうぞよろしく御願いいたします。

放射線科



臨床工学科は2025年4月より新設され、現在3名在籍しております。

今年は、引き続き医療機器の点検強化とトラブルの予防に取り組み、研修を通して安全な医療環境づくりに務めます。

臨床工学科

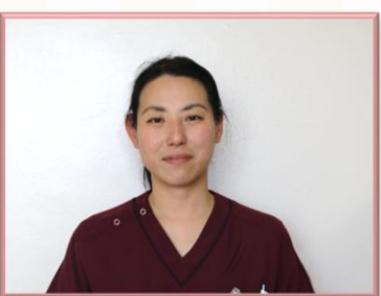


『患者様が満足感と、安心感を得られる  
リハビリテーションを提供します』

患者様の病状に合わせた身体的機能回復、自立支援に努めるとともに、地域の皆様の健康運動機能を維持するための支援活動を行っています。

安心安全を心がけ、信頼していただける診療を行って参ります。

リハビリテーション科



昨年よりNSTを稼働し、チームで低栄養の患者様への栄養改善に取り組んでまいりました。

食材料費の値上がりはまだまだ続いておりますが、今年も患者様に「おいしい」を届けられるように努力してまいります。

栄養科

皆様、新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、当院の運営にご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は熊本市西区田崎に、熊本そけいヘルニア・整形外科クリニックを開院し、熊本県では初のそけいヘルニア専門クリニックとして医療サービスを展開致しました。

最近ではクリニックをご利用いただく患者様も増え、ニーズの高さを実感致しております。

誠療会では地域医療連携の強化やタスクシフト/シェアによる業務改善など、多岐にわたる取り組みを進めてまいりました。

これもひとえに、患者様や地域の皆様、連携医療機関の皆様からの温かいご支援、そして職員の協力があってこそと深く感じております。

誠にありがとうございました。

今年は「午年」です。

午は古くから力強く駆け抜ける姿が尊ばれてきました。

私たち誠療会も、この午のように力強く、そして迅速に、地域医療に貢献してまいります。

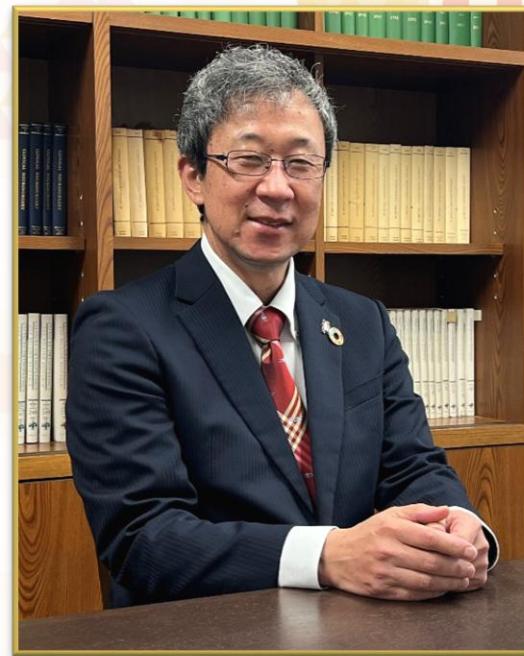
具体的には、

- ・患者サービス向上
- ・医療安全体制の強化
- ・職員の働きがい向上

に注力し、より質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。

本年も全職員一丸となって、地域の皆様に信頼される病院を目指し、より一層精進してまいりますので、変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



医療法人社団 誠療会

事務局長・事務部長 西村 俊也



患者様が安心して過ごせる病院環境づくりを目指し、より良い医療提供を支える体制の充実に、事務部一同日々取り組んでおります。質の高い医療サービスを裏方として確実に支え、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。また、皆様の声に真摯に耳を傾け、快適で信頼される病院運営に向けて、改善を重ねてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

事務部

# 診療支援部

謹んで新春をお祝い申し上げます。

新年を迎えて新たな目標を立てられた方も多いかと存じます。

最近ではさらに物価や光熱費の上昇が著しく当院でも苦慮している所ですが、一方厳しい環境の中でDX（デジタルトランスフォーメーション）による取り組みも進めております。マイナンバーカードによるオンライン資格確認や電子処方箋によるペーパーレス化への取り組みなど患者様の安心で安全で便利な受療への取り組みも進めております。今年も取り組みを継続していき業務効率化、利便性向上、質の高い医療の提供への取り組みを当部署として行って参ります。

末筆となりましたが、皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げつつ新年の挨拶とさせて頂きます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



成尾整形外科病院

診療支援部長 豊田 博信



現在国の推進する医療DX化に伴い、保険証からマイナンバーカードへの移行や電子処方せんの導入など医療のICT化が進んでおり情報システム課として適切に対応しより良い医療が提供できるように努めて参ります。

本年もどうぞよろしくお願ひします。

情報システム課



本年は診療報酬改定があり様々な変化がある年になりそうです。『患者様の立場に立った医療を提供する』という当院の理念に沿って診療情報管理室では患者様の情報を適切に管理し、質向上のための取り組みをより強化していきたいと思います。

診療情報管理室



～2026年新年のごあいさつ  
新年の抱負～

# 熊本そけいヘルニア・整形外科クリニック



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の4月に熊本県内初の鼠径ヘルニア専門クリニックとして開院し、順調な一步を踏み出すことができましたのも、ひとえに皆様からの温かいご支援、ご厚情の賜物であると心より深く感謝申し上げます。

患者さんからの「今までどこに行けばいいか分からなかったので助かりました」との声や、「相談しやすいクリニックができて良かった」との先生方からのお言葉が何よりの励みになるとともに、改めて責任の重さと喜びを感じております。

また、整形外科領域においては成尾整形外科病院との密な連携を図り、適切なタイミングでの手術を提案し、術後のリハビリテーションまで一連のきめ細かいフォローが提供できるようになりました。

本年も患者さん一人ひとりの不安に寄り添う、温かい診療を大切にしてまいります。

クリニックに来院される全ての方が安心して治療を受け、快適な日常生活を取り戻せるよう、職員一同、誠心誠意努めてまいります。

この一年が皆様にとって健康で幸多き年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



熊本そけいヘルニア・整形外科クリニック  
院長 菊竹 高志



新年明けましておめでとうございます。旧年中は地域の皆さんには多大なるご厚情を賜り心より御礼申し上げます。当クリニックも昨年4月に開院し8ヶ月が経ちました。リハビリテーション科では腰痛や膝痛のような一般的な整形外科疾患に対して個別でプログラムを作成しリハビリを提供しております。さらに症状の程度に合わせてトレーニングマシンを用いたパワーリハビリテーションも導入し、症状改善や再発予防を目指しております。

また高齢化社会の課題でもあるフレイル予防や転倒予防にも尽力し、一人でも多くの方が住み慣れた地域や環境で生活が継続できるよう努めております。7月からは通所リハビリも開設し、より多くの方々にリハビリを提供できるよう体制を整備致しました。

本年も地域に開かれた医療機関を目指し、お一人お一人に寄り添ったリハビリを提供したいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。旧年中は地域の皆さんには多大なるご厚情を賜り心より御礼申し上げます。当クリニックも昨年4月に開院し8ヶ月が経ちました。リハビリテーション科では腰痛や膝痛のような一般的な整形外科疾患に対して個別でプログラ

新年明けましておめでとうございます。

2025年4月より開院しました「熊本そけいヘルニア・整形外科クリニック」は、地域に根ざした医療の提供、親しみやすく、患者さんに寄り添った医療・看護の提供が出来る様に努めています。私たち看護師は、初めての環境に不慣れな事もありましたが、クリニックに来院される患者さんの笑顔や、やさしいお声掛けに私たちが元気を頂いています。

これからも、笑顔になれる医療の提供を目指し精進していきたいと思います。

本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

看護部

リハビリテーション科

# 院外活動

## 学会・研究会発表レポート

2025年8月～11月にかけて、当院の医師が各種学会・研究会にて発表を行いました。以下に概要をご紹介いたします。

田畠 聖吾・井上 崇文 9月19日 第32回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会

田畠 聖吾・牛牧 誉博 10月30日 第34回日本インストゥルメンテーション (JSIS)

第28回日本低侵襲脊椎外科学会 (JASMISS)

第12回日本脊椎前方・速報進入手術学会 (JALAS)

井上 崇文 10月29日 日本脳神経外科学会第84回学術総会

11月13日 第60回日本脊髄障害医学会

今後も当院では、学会発表や研修会参加を通じて最新の医療知識と技術の習得に努め、地域の皆様へより良い医療の提供を目指してまいります。

## 学会の一般演題で最優秀賞受賞

「第28回日本医業経営コンサルタント学会 新潟大会」において、西村事務局長が発表した演題「組織が求める人財が育つ人事考課制度」が、JA HMC学会賞 最優秀賞を受賞しました。JA HMC学会賞は、前年に開催された学会で一般演題を発表した中から、特に優れた発表に贈られるものです。西村事務局長は、「人財育成の取り組みを職員一人ひとりが理解し、丁寧に継続してくれたおかげで最優秀賞につながった。今後も素晴らしい医療人が育ち、医療界に寄与できるよう尽力していきたい」と受賞の喜びを語りました。



表彰を受け取る西村事務局長

## 事業承継の取り組みを全国へ発信



ポスター発表をする  
川中副部長

第66回全日本病院学会（北海道）において、事務部・川中副部長が、今年度開設した「熊本そけいヘルニア・整形外科クリニック」の事業承継をテーマに演題発表を行いました。本発表では、地域医療体制を維持し、患者様の診療継続を途切れさせないための事業承継の取り組みや、開院に至るまでの課題とその解決に向けた実践内容について紹介しました。地域医療連携の重要性を再認識する機会となりました。

職員の皆さんのが熱心に取り組んでいただいたからこそその発表となりました。今後もより良い職場環境づくり、そして質の高い医療提供のため取り組んでいきたいと思います。

## 事務長会分科会熊本県病院広報を考える会「第1回SNS大賞」開催

9月27日、成尾整形外科病院を会場とし「第1回SNS大賞」が開催され、県内の病院広報担当者約30名が参加しました。SNSを活用している8病院が、SNS発信の目的や工夫や成果についてプレゼンテーションを行いました。投票の結果、大賞は荒尾市にある新生翠病院が受賞。

「小さな病院の大きな発見～週1投稿がつないだ変化～」と題し、SNS投稿が院内の雰囲気や職員意識の向上につながった取り組みについて多くの票を集めました。SNSが病院と地域、職員をつなぐ重要なツールであることを再認識する機会となりました。



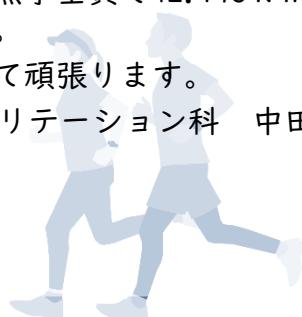
# 第12回熊本リレーマラソン出場

11月3日に第12回熊本リレーマラソンに参加しました。今回は15人で襷を繋ぎました。

結果は部門別で70位（128チーム中）でした。天候にも恵まれ、応援を力に、無事全員で42.195kmを完走することができました。

来年もより良い結果を目指して頑張ります。

リリハビリテーション科 中田



## 病院対抗ソフトボール大会



10月19日に病院対抗ソフトボール大会に当院のチームが参加しました！急な試合開始時間の変更や、場所も阿蘇ということで眠い目を擦りながら試合に出場zzz。結果は予選リーグ敗退でしたが、参加者全員試合に出場し、楽しく終えることができました！遠方だったにも関わらず、応援に駆けつけて頂いた皆様本当にありがとうございました！次の大会ではよい成績を残せるように、チームなるお一丸となって頑張ります！

放射線科 鶴田

## 病院対抗フットサル大会

9月下旬に病院対抗フットサル大会に参加してきました。結果は、5位リーグ優勝（4勝2敗1分）でした。今大会で攻撃、守備ともに課題がみえた為、次回までに改善していきたいと思います。また今回は様々な部署のスタッフと交流を深める事でき、大変有意義な時間となりました。ご参加された方、応援に来られた方ありがとうございました。次は優勝目指して頑張ります。

リハビリテーション科 中村



# 外来担当表



ご紹介に関するお問い合わせは、  
地域連携室までご連絡ください。

**TEL. 096-371-9903**

			月	火	水	木	金	土
午前 9:00～ 12:30	整形外科	脊椎 ・ 脊髄	成尾 政一郎			成尾 政一郎	成尾 政一郎	
				藤本 徹	藤本 徹		藤本 徹	
			田畠 聖吾	田畠 聖吾		田畠 聖吾		
			牛牧 誉博		牛牧 誉博	牛牧 誉博		
				井上 崇文			井上 崇文	
	関節			林田 実		林田 実	林田 実	
			山城 和馬		山城 和馬	山城 和馬		
	リウマチ科				友田 邦彦			
	内科			上園 幸作	上園 幸作			
							渡邊 篤史	
	睡眠時無呼吸				担当医			
午後 14:00～ 17:30	整形外科	山城 和馬	井上 崇文	藤本 徹	井上 崇文			
	リウマチ科	友田 邦彦			友田 邦彦	友田 邦彦		
	睡眠時無呼吸		担当医					

※2025年5月より、午後の「整形外科」を再開いたしました。



医療法人社団 誠療会  
熊本そけいヘルニア  
整形外科クリニック  
KUMAMOTO INGUINAL HERNIA ORTHOPEDIC CLINIC



**TEL.096-326-2002**

			月	火	水	木	金	土
午前 9:00～ 12:30	整形外科	外科(そけいヘルニア) ※20歳以上の方が対象です。	菊竹 高志					菊竹 高志※
			村上 直也	村上 直也※				
				天野 敏夫	天野 敏夫	天野 敏夫	天野 敏夫	
		内科	渡邊 篤史					
	整形外科	外科(そけいヘルニア) ※20歳以上の方が対象です。	菊竹 高志					
			村上 直也	村上 直也		村上 直也	村上 直也	
	内科			上園 幸作				
午後 14:00～ 17:30	整形外科							
	内科							

※土曜午前は外科(そけいヘルニア)、整形外科、リハビリテーション科とともに第1、第3週のみの診療となります。

## 理念

「私たちは患者様の立場に立った医療を提供します」

### 基本方針

- ・脊椎外科・関節外科を主体とした整形外科専門病院として、信頼できる医療を提供します。
- ・地域社会に開かれた病院をめざします。
- ・患者様の権利を尊重した医療をめざします。
- ・誠実さと思いやりの心を持った診療をします。
- ・専門知識、技術の研鑽と共に人格の形成に努めます。

### 患者様の権利

- ・個人の尊厳
- ・平等で良質な医療を受ける権利
- ・情報を得る権利
- ・選択の自由と自己決定の権利
- ・プライバシーの権利

### クレド

クレド I (職員に向けて)

ありがとうございます

クレド II (患者様に向けて)

お一人お一人に寄り添った、安心できる医療を提供します

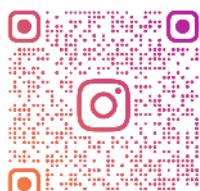
クレド III (地域住民に向けて)

地域の皆様に愛される病院をつくります

クレド IV (関連業者に向けて)

信頼関係を築き、感謝の気持ちを伝えます

各種SNSで情報発信しています



SEIRYOKAI1977



成尾整形外科病院

〒862-0958

熊本県熊本市中央区岡田町12-24

TEL 096-371-1188

FAX 096-366-9923



医療法人社団 誠療会

熊本そけいヘルニア  
整形外科クリニック

〒860-0053

熊本市西区田崎1-3-79

TEL 096-326-2002

FAX 096-359-2594



KUMAMOTO INGUINAL HERNIA ORTHOPEDIC CLINIC